

9月3日

05



柱松の頂上めがけ松明を投げる勢子たち

秋の訪れ告げる市木柱松

市木の岩折神社前広場で伝統の火祭り「古式十五夜柱松」が行われました。市木小児童による子供柱松で幕開け。市木保育所の園児による松の下笹踊りなども披露されました。日が暮れると高さ約20メートルの柱松を勢子たちが建立。頂上めがけ松明を投げ、命中すると大きな歓声が上がりました。

市木地区・海北
はしくち ただひろ
橋口 忠弘さん

市木の火祭りは手作り感があっていいですね。初めて来たけど天気も良く、いい雰囲気でお酒が進みますよ。

8月25日・26日

04

晩夏の夜空染めるアーチ

都井岬で「第51回都井岬火まつり」がありました。午後8時になると大蛇退治を再現する「柱松」がスタート。観客の掛け声に合わせて、柱松保存会の勢子たちが高さ30メートルの柱の頂上めがけ松明を投げ込みました。見事命中し、花火が上がると大きな拍手が送られました。



松明が夜空を乱舞した

都井小学校
たなか かのん
田中 楓音さん
はやせ こはる
早瀬 心晴さん
さかのうえ おおすけ
坂ノ上 大佑くん
水元 竜基くん

臼太鼓踊りで参加しました。初めての人もいたけど無事踊れました。1日目の柱松は火が入るのが早かったのもう少し長いとよかったです。

9月10日

06



気合の入った応援を響かせた

新たな歴史ヨーイ、ドン

市内6中学校が統合した串間中で、統合後初めての体育大会が開催されました。6中学校の伝統や思いをつなぎ、新しい歴史をつくろうという思いを込めた大会スローガンは「絆～受けついだ思い つなぐ思い」。生徒たちはともに勝利を目指し、絆を深めていました。

串間中学校3年生
みぞした かむい
溝下 神威くん

津波の防災の合図 オレンジフラッグ

8月25日、津波の襲来や避難場所を示す「オレンジフラッグ」を活用したり、普及啓発を進めようと、宮崎大学の学生らでつくる市民団体の代表ら3人が市役所を訪れ、佐藤副市長にオレンジ色の旗を贈りました。同団体は、延岡市から本市までの県内沿岸10市町に旗の贈呈を行いました。



佐藤副市長にオレンジフラッグを手渡した

TOPIC

8月20日

01



医療、介護関係者らによるパネルディスカッション

地域まるごと支え合おう

地域包括ケアについて学ぶ講座『地球まるごと支え合い推進シンポジウム』が開催されました。富山県南砺市政策参与の南眞司さんが「長命社会を長寿社会へ」と題し講演。福島高生や県立看護大生の発表や医療、介護関係者らによるパネルディスカッションも行われました。

8月23日

03



英語の授業で名刺交換ゲームを楽しんだ

今日からみんな友だちだ

串間中学校で市内全10小学校の6年生約130人が参加し、進学を前に交流を深めるための合同学習会がありました。児童たちは4クラスに分かれ、英語と体育の授業を実施。体育はミニバレーを楽しみ、英語では自己紹介をしながら名刺を交換するゲームなどで親睦を深めていました。

金谷小学校6年生
かわの なう
河野 那宇くん

いろんな小学校の児童が集まって緊張したけど、授業を通して仲良くなったのでよかったです。またこういう機会を作ってほしいです。

くしま プレイバック

8月20日～9月10日

まちで起こったあんなことやこんなこと。
串間の1カ月を振り返ります。

都井地区・岬
さこだ しみこ
迫田 志美子さん

若い人たちの介護、医療への取り組みに感心しました。若い人たちの負担にならないように自分のできることはしっかりとしていきたいですね。

8月21日

02

ものづくりの楽しさ発見

中央公民館で宮崎大学工学部の「科学祭りin串間2017」が開催されました。市内の小中学生約80人が参加し、オリジナル芳香剤づくりなど3種類の実験に挑戦しました。参加者たちは、宮崎大学工学部の講師からアドバイスを受けながら制作し、ものづくりの楽しさを感じていました。



科学祭りで実験に夢中になる児童ら

福島小学校6年生
せじやま まどか
瀬治山 眞さん

理科が好きで参加を楽しみにしていました。芳香剤作りが一番楽しくて、いい香りのものができました。初参加でしたが楽しかったです。